

かわさき区の宝物シート

宝物No.
19-1

かわさきぎょぎょうゆかりのちひ 「川崎漁業ゆかりの地」碑



エリア	大師地区	シーズン	通年
	東扇島	日時	

目的	<input checked="" type="checkbox"/> 観る	<input type="checkbox"/> 遊ぶ・体験する
	<input type="checkbox"/> 食べる	<input type="checkbox"/> その他

宝物定義	<input checked="" type="checkbox"/> ものづくり	<input type="checkbox"/> イベント・祭り
	<input type="checkbox"/> 味づくり	<input type="checkbox"/> にぎわい
	<input type="checkbox"/> 現代の文化的なもの	<input type="checkbox"/> 港めぐり
	<input checked="" type="checkbox"/> 歴史的なもの	<input type="checkbox"/> 人物

所在地	川崎区東扇島 東扇島北公園内
問い合わせ	港湾局川崎港管理センター港営課
TEL	044-287-6034
FAX	044-287-6038
E-mail	58kouei@city.kawasaki.jp
URL	
交通	JR川崎駅から市バス40分 「東扇島北公園入口」下車



基礎情報

■昭和46年(1971)に漁業権を放棄し、解散した川崎漁業協同組合の記念碑が東扇島の海底トンネル出口付近の上に建っている。「伊予石」という銘石が使われ、昭和60年(1985)に建立された。傍には「川崎の漁業百年の歩み」が刻まれた碑が並び、歴代の組合長16名と解散時の全組合員131名の名前が記されている。

由来・エピソード

■昔、このあたりは「大師の海」と呼ばれた遠浅の海が広がり、県内最大、東京湾内でも有数の海苔養殖場であった。大正年間には多くの漁師で賑わったと言われている。多摩川が運ぶ豊富な養分に恵まれた大師の海は、品質の良い海苔や貝がたくさん採れ、特に海苔は「大師海苔」として全国に知られていた。

■昭和に入って海面は順々に埋め立てられ、大規模な工場や石油コンビナートが建設されて海の様子は一変した。昭和48年(1973)、さらに大規模な埋め立て工事によって漁場は失われ、川崎の漁業はその歴史の幕を閉じることになった。

補足・その他

■殿町小学校の海苔資料室や若宮八幡宮の郷土資料室には、海苔養殖を伝える漁具や道具類、文献資料などが展示されている。

■川崎大師平間寺境内には、大正9年(1920)に行われた大師海苔50周年記念の「のり供養祭」の記念碑が建つ。

関連シート

- (10-3) 若宮八幡宮・若宮郷土資料室
- (14-4) 市立殿町小学校海苔・郷土資料室
- (16-3) 屋形船
- (19-3) 川崎の海苔づくり資料室
- (28-1) 港湾施設(埋立地)
- (28-2) 川崎港・運河